



## 民俗資料館で昔の遊びを楽しむ

10月13日（土）、韮崎市民俗資料館で、にらみんで秋まつりが開催されました。「みんなで昔のあそびをたのしもう」をテーマにコマやお手玉、弓矢で狩り体験など子どもはもちろん大人も童心に返って皆さん夢中になって楽しんでいました。

ゲームやスマートフォンなど私たちの周りには便利で楽しいものがあふれていますが、電気がなくてもたくさんの楽しい遊びがあることを再確認する機会となりました。



## 秋の味覚で復興支援～サンマ祭り開催～

10月13日（土）、穴山町ふれあいホールで、穴山町サンマ祭りが開催されました。

東日本大震災の被災地に対して細く長く支援の気持ちを持ち続けていくために、毎年気仙沼からサンマを取り寄せて実施しているこのイベントも今年で6回目を迎えました。

今年も秋の味覚・気仙沼直送のサンマと穴山町でとれた新米をたくさんの方が堪能し、1,300匹のサンマは完売しました。

## 「ニラサキーゼ倶楽部」設立

10月14日（日）、韮崎市商工会館で、ニラサキーゼ倶楽部（山寺直美会長）の設立総会が開催されました。

ニラサキーゼ倶楽部は女性のネットワーク作りや韮崎に新たな活力を生み出すことを目的に、本市在住・在勤、または本市が好きな50～64歳の女性により組織された団体です。

これからの韮崎が活力あふれるまちであるために、また、女性が輝くまちであるために活動を行っていきそうです。



## 韮崎北西小学校で消費生活地域講座を開催

10月15日（月）、韮崎北西小学校の4～6年生の児童を対象に「スマホ・ネットの安心・安全な使い方」と題して山梨県消費生活地域講座が開催されました。山梨県消費生活研究会連絡協議会が主催したこの講座は、講師に全国読売防犯協力会の菅野泰彦さんをお招きし、機械を上手に使うこと、自分で正しい判断をすることの大切さなどをお話してくれました。参加した児童は「気を付けて使っていきたい」と感想を述べていました。

## 株式会社テージーケー 韮崎工場開所

10月17日（水）、上ノ山・穂坂地区工業団地に立地した株式会社テージーケー 韮崎工場が開所式が行われました。

開所式には、会社の建設にかかわった関係事業者等たくさんの方が出席され、清宮代表取締役は「ここまで来ることができたのは皆さんのおかげです。この場所は大変素晴らしい環境で、ここに溶け込んで、最先端のものづくりをしていきたい。」と感謝の気持ちとともに決意を表明されました。





## 首都圏葦崎会交流ツアー

10月18日（木）、首都圏葦崎会（清水美知雄会長：会員数124名）の交流ツアーが開催されました。当日は、約40名が来葦され、秋晴れのもと、幸福の小径の散策からスタートし、武田八幡宮への参拝や常光寺での座禅体験など、葦崎の歴史文化に触れる一日を過ごされました。首都圏葦崎会は、首都圏在住の本市出身者やゆかりのある方々の交流および情報交換により、故郷の発展に寄与することを目的とした様々な活動を行っています。

## 地域ブランド食としてにらまんを紹介

10月18日（木）、甲府市内で「特選やまなしの食」試食会が行われました。県内の郷土料理等のうち、次世代に残したい料理等167品目を「やまなしの食」として認定し、代表的な47品目を「特選やまなしの食」に選定しました。本市からはにらまんが選出され、市職員、食生活改善推進員等が調理して来場者にふるまわれました。試食された方からは「おいしい」「どこで食べることができるのか？」などといった好評の声をいただきました。



## やさしさがあなたの心をあたためる！

10月20日（土）、葦崎中央公園陸上競技場で第32回「福祉の日」記念まつりを開催しました。はじめに、全国ラジオ体操連盟の有賀さん、NHK「みんなの体操」の五日市さんを講師に迎え、全員でラジオ体操・みんなの体操を行いました。その後の運動会では園児とお年寄りが力を合わせて競技が行われ、アトラクションでは穴山の里利用者による和太鼓が披露されるなど、皆さんいきいきとした様子で参加してくださいました。

## 100歳おめでとうございます！

10月22日（月）、円野町の澤野たけ子さんが100歳の誕生日を迎えられました。澤野さんは、折り紙が趣味で気持ちを込めて作った作品をプレゼントすることが好きだそうです。また、毎朝一番に新聞を読み、家族にいろいろとお話をされるそうです。長生きの秘訣は好き嫌いなく何でも食べること。特にちみつと牛乳は欠かせないとのことでした。

澤野さん、100歳おめでとうございます。



## U-3 親子サッカーフェスティバル

10月25日（木）、グリーンフィールド穂坂で、親子（3歳以下）を対象とした、第9回U-3親子サッカーフェスティバルが開催されました。葦崎市子育て支援センターが主催するこの行事は葦崎市サッカー協会の協力で、サッカーの普及や幼少期からスポーツに親しむこと、親子の交流を深めることを目的に毎年開催しています。今年も青空の下、約100組の親子が参加し、サッカーを通じて絆を深めていました。

## 消防団にポンプ車等を交付

10月29日（月）、神山分団に消防ポンプ自動車、穂坂分団第2部と第5部に可搬式小型動力ポンプが交付されました。市役所で行われた交付式では、市長からの「地域消防力の要として活躍して欲しい」との激励に対し、神山分団・工藤分団長が「地域の消防力を一層向上させ、市民の力となるよう気を引き締めてがんばりたい」と決意を述べられました。

消防団は地域の消防活動のリーダーとして、平時・非常時を問わず、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。



## 園児の熱戦！U-6 サッカーフェスティバル



10月30日（火）、葦崎中央公園陸上競技場でU-6 サッカーフェスティバルが開催されました。市と葦崎市サッカー協会が毎月実施している市内保育園・幼稚園の巡回サッカー教室での園児たちの成果を見せる場として実施し、園児は広い芝生の上でのサッカーを楽しみました。また今年度は東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ㈱にご後援いただき、園児たち一人ひとりにサッカーボールをいただきました。ありがとうございました。

## 今年で40年目！菊まつり開催

11月1日（木）、穂坂小学校で第40回菊まつりが開催されました。「咲かせよう笑顔の花を 思いをこめよう Forever (40) ～ひとりひとりが主人公～」をテーマに5年生児童が劇で40年間の歴史を振り返ったほか、各学年の発表や全校合唱などで菊の花をきれいに咲かせるためにお世話になった方々へ感謝の気持ちを精一杯伝えました。会場は5年生が丹精込めて育てた菊で彩られ、華やかな雰囲気でお迎えしました。



## 甘利小学校の校舎が生まれ変わりました！

昭和58年の学校設置から35年が経過した甘利小学校ですが、平成28年7月から3年という長期にわたって実施してきた大規模改修工事が9月に完了しました。

学習メディア・給食棟の改築により給食調理のドライシステム化やアレルギー対応が可能になりました。また既存校舎の大規模改修により、老朽箇所の更新はもとより、多目的トイレの新設・トイレ改修、またエレベータやスロープも整備さ



れ、バリアフリー化も図られました。

今回の改修事業は既存校舎の大規模改修のため、工期ごとに完成した箇所の部分引渡しを受け、使用していました。

この度、全ての工事が完了したことから9月28日の運動会全校練習の前に「校舎完成ありがとうの会」が行われ、全校児童を代表し、山西彩湖児童会長から工事関係者の皆さんへ感謝の気持ちを伝え、きれいな校舎を大切に使うことをあらためて約束しました。



## 親善大使を任命！

11月2日（金）、本市の知名度向上とイメージアップ、観光の振興等の役割を担う「武田の里・サッカーのまちにらさき親善大使」を新たに任命しました。今回大使を引き受けていただいた方は、本市出身でモデルやタレントとして活躍中の若尾綾香さんです。

若尾さんは「自然豊かなふるさとを日々の活動やSNSを通じてPRしていきたい」と、大使としての意気込みを語ってくださいました。若尾さんよろしくお祈りします。

## サッカーフェスティバル（シニアの部）

11月3日（土）、4日（日）、韮崎中央公園陸上競技場・芝生広場でサッカーフェスティバル（シニアの部）が開催されました。今年も韮崎シニアSCをはじめ県内外から10チームが参加しました。公園の木々は秋色に染まっていますが、年齢を感じさせない熱い戦いが繰り広げられ、会場は熱気に包まれました。

この地にサッカーを根付かせてきた皆さんが、今でもこうして「サッカーのまち・にらさき」を支えています。



## 珠玉の近代陶芸作品を展示

11月4日（日）、市民交流センターニコリのアートギャラリーで「珠玉の近代陶芸 ～TKK岩下幹コレクション～」の記念セレモニーが開催されました。本市出身の岩下幹さんが約半世紀にわたり集めた約2,000点以上の作品のうち、酒井田祐右衛門や北大路魯山人など、現代の人間国宝や巨匠作家による作品約100点が展示されています。

企画展は12月24日（月）まで開催しています。皆さん、この機会に貴重な陶芸の美に癒されてみませんか。

おめでとう！

## 市内の学校の児童・生徒の活躍

### 全国選抜溶接 技術競技会 3位入賞



韮崎工業高校電子機械科3年生の志村学樹さんは、8月に愛媛県で開催された「～溶接甲子園～全国選抜高校生溶接技術競技会」へ出場し、被覆アーク溶接部門で3位に入賞しました。溶接の魅力は「同じようにやっても毎回違う出来上がり。自分を見つめているようで楽しい。将来的にも役立つ技術。後輩たちにも勧めたい。」と語ってくれた、志村さん。4月からは溶接の仕事に就くことも決まったそうです。次の目標は、技能五輪に出ること。夢を追い続ける志村さんを応援しています。

### 第38回 山梨県小学生 陸上競技会 優勝



韮崎北東小学校6年生の有井謙成さん（80mハードル）と奥村陽さん（100m）が、10月8日（月）、山梨中銀スタジアムで行われた第38回山梨県小学生陸上競技会に出場し、それぞれの種目で優勝しました。

奥村さんは「大会に向けて指導者の方がたくさん教えてくれたので優勝できたと思う。応援してくれた皆さんに感謝している。」と感想を述べてくれました。2人は中学生になっても競技を続けていきたいといい、有井さんは「11秒台を記録することがこれからの目標です。」と決意を語ってくれました。